

さて、この土地に、羊飼いたちが、野宿で夜番をしながら羊の群れを見守っていた。すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光が回りを照らしたので、彼らはひどく恐れた。御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。あなたがたは、布にくるまって飼葉おけに寝ておられるみどりごを見つけます。これが、あなたがたのためのしるしです。」

1. さあ、いよいよショッピングやプレゼントの準備に追われ、どこもかしこもパーキング探しに一苦労... うんざりする季節がやってきました。... というのは置いて... 一年のうちで最もすばらしい季節になりました。家族や親しい仲間が集まり、プレゼントを交換し、人の過ちを赦してあげ、新しい年に期待する時期であります。
2. あなたはクリスマスのどんな部分が好きですか？ 私は個人的にはおいしい食べ物やプレゼントが大好きです。私の妻は、私はプレゼントをあげるのが上手だと言いますが、それはおそらく、私は何かをもらうことによって愛情を感じるタイプの人だからかもしれません。ゲーリー・チャップマンの本によると、5つの愛の言語 (love language) というものがあり、人それぞれに合ったコミュニケーションの手段があるということです。それらは、贈り物 (gift giving)、ポジティブな言葉 (words of affirmation)、クオリティ・タイム (quality time)、何かをしてあげる (serving)、スキンシップ (physical touch) です。
3. 相手に対する愛情の表現方法を理解していないと、時としてミスコミュニケーションや誤解の原因となり、その人との関係に不必要な痛み、ずれ、亀裂を起こしてしまうことがあります。
4. イエス様は神のことばとも言われています。それはイエス様によらなければ神様を理解し知ることにはできないからです。イエス様はすべてのミスコミュニケーションや誤解を解き、人と人との隔たり、ひび、傷を取り除いてくださるため私たちに与えられたギフトです。
5. イエス様の誕生を見ていくにあたり、イエス様こそこの世が受けた最高のクリスマスプレゼントであることを理解していけたらと思います。
6. まずイエス様誕生の背景を見てみましょう。両親はナザレという小さな貧しい町の出身でしたが、イスラエルはローマの支配下にあったので、皇帝アウグストは人口調査のため住民は故郷のベツレヘムへ戻るよう勅令を出します。マリヤはいつ赤子が生まれてもおかしくない身重となっていました。ヨセフとともに 150 キロものつらく厳しい旅に出ます。この部分を読むと皇帝アウグストのコントロールにより事が起こったかに見えますが、ルカによればダビデの町ベツレヘムでイエス様がお生まれになることはすでに聖書によって預言されていました。人生がどんなにうまくいなくても神様は何らかの形で整えてくださると信頼することができます。最終的には神様がすべてを支配されすべてを善きにしてくださいます。
7. マリヤの出産にあたってはいくつかのポイントがあります。1) 天使が現われ新しい王の誕生を告げます。しかもそのニュースを受けたのは王族でも博士でも高位の人でもなく、貧しい羊飼いたちでした。2) イエス様がお生まれになった時は宿屋がなかったのでマリヤは赤子イエスを馬小屋の飼葉おけに寝かせました。イエス様を拒んだ宿屋には激しい火と硫黄による天罰が下り... とは書いてありません。神様はそれに対して地上には裁きを下されませんでした。
8. イエス様はさばくためではなく救いをもたらすために来られました。私たちが救うだけでなく、私たちを変えてくださるメシヤとして、私たちに導く主として来られました。私たちと関係を持ってくださるためにインマヌエルとしてともにおられるだけでなく、神のことばとして私たちに良い言葉をかけてくださり、私たちに仕え、ギフトをくださり、触れてくださいます。
9. 神様からのプレゼントで最も良いものは何でしょう？ それはあなたの愛の言語にもよりますが、確実に言えることは、イエスさまが私を愛してくださり、私たちのために来てくださったことでしょう。